

# つなぐ

恵庭市  
町内会連合会報  
2014.2  
vol.04



「おはようございます」と元気な声が聞こえる交差点がある。黄金南曙町内会の工藤さんは5年前から交通安全推進員として毎朝7時から8時まで、1時間に800台もの車が通行する黄金地区の交差点で通学する子ども達が交通事故に遭わないよう見守っている。

傘を差して視界が狭くなる雨の日、足元が凍結する時期は、特に周囲に気を配って誘導している。冬は登校時間前に歩道や交差点の除雪や滑り止めの砂を撒く。「歩行者も車も急には止まれない。お互い十分に気をつけてほしい」と工藤さん。

交差点で誘導しながらスクールバスで登校する子ども達の見守りもおこなう。バスに乗りおくれた子を学校まで送ることもあるそうだ。

毎日立っていると運転手や子ども達の特徴もわかるようになるという。こうした経

## 地域の大人が しっかり見守ることが大切

験を活かしながら誘導しているが、これまで2度ほど身をていして、車を止めた経験がある。「危険な体験をしたこともあるけど、子ども達の安心と安全のために責任をもって立っているよ」と工藤さん。

「地域の大人が、しっかり見守ることが大切」。しかし、こうした活動に取り組んでくれる人が少ないことが悩みだという。「大変だけど笑顔で登校する子ども達を見ると朝から元気をもらえるよ」と笑う。一箇所でも多くの交差点で地域の大人達が見守り、こうした思いを共有できたら。そう願って今日も活動が続けている。



工藤 福逸 さん  
黄金南曙町内会  
交通安全部長



# RELAY INTERVIEW

## リレーインタビュー

### 地域の子ども達は 地域の大人達が育てる

西根輝雄さんは4年前から『文京子ども太鼓』の指導者として、地域の子ども達に太鼓の魅力を伝えている。町内会の盆踊りへの参加者が少なくなってきたことがきっかけ。大町や文京町の小中学生16名が週4回、神社で猛練習を重ね、今では、盆踊りのやぐらの上で、子ども達の太鼓が鳴り響く。演奏の場は、このほかにも老人ホームなどでも披露し、大人達は裏方としてサポート役に徹しているという。

「地域の子どもは、地域の大人達が育てる」と西根さん。子ども達が、安心して成長出来る環境を作るのが大人達の役目だと考えている。全員の太鼓の音が揃ったとき、とても楽しく嬉しい瞬間でやりがいを感じる。将来、子どものとき「やぐらの上で叩いて楽しかった」ことを思い出してくれたらと願いながら指導を続けている。



文京町内会  
西根 輝雄さん





## 事例紹介

# 会員の繋がりで孤独死ゼロ 東京都立川市大山自治会



講師

佐藤 良子氏



◎プロフィール

東京都立川市の大山団地（1600世帯、4000名）で自治会会長として活躍。加入率100%、孤独死ゼロを実現。行動派の運営で、日本一の自治会と称される大山自治会を取りまとめている

11月4日、東京都立川市で加入率100%を続けている大山自治会会長佐藤良子氏を講師に招いて、恵庭青年会議所主催の「地域創造フォーラム」が開催されました。佐藤会長は自治会活動での体験談等を交え、「自治会（町内会）は、人がつながる場所」「まちをつくるということは人をつくること」をキーワードに、一人ひとりが地域にとって必要であることや地域全体で見守りを行うことの重要性などを語っていただきました。

佐藤会長は「人が繋がる」ため、「高齢者のたまり場づくり」や、青年層と子ども、高齢者が集う行事の開催、パソコンや大工作業、着付けなど会員の特技や能力を登録してもらう「人材バンク」、電気・水道・ガスの検針員、新聞配達員と連携した「見守り隊」など多くの事業を手がける。こうした取り組みを精力的に行ってきた結果、孤独死ゼロを実現しています。

自治会活動は「元気で陽気に根気よくやる気をもってみんなが頑張ること」でまちは元気になると講演されました。



恵庭市街地を流れる漁川には二つの発電所があります。上流が恵庭発電所、下流は漁川発電所と言います。漁川発電所は大正11年に建設。当時、恵庭の人口は1,200世帯、7,000人ほどでしたが、これによって初めて恵庭村に文明の灯がともりました。この発電機は建設当時、江別から千歳川をさかのぼり漁太の船着き場に陸揚げされ、村民の手で運ばれたと言います。90年前に設置されたフランシスタービンは今も現役です。



現在の漁川発電所



## 【報告】 市町連 町内会活動 研究会

2013.11.4

11月4日、黄金ふれあいセンターにて町内会長・自治会長や役員を対象に「町内会活動研究会」を開催しました。研究会は、町内会・自治会活動の活性化を図ることなどを目的に毎年開催しており、今年は、東京都立川市大山自治会の佐藤会長と意見交換を行いました。

災害時に必要な個人情報はどうのようにしているのかという質問に対して、佐藤会長は「会員の命を守るためには個人情報の把握は絶対必要。管理の仕方や必要性などを一人ひとりに納得してもらうよ



う、はたらきかけなければ」と地域全体で災害に強いまちづくりに取り組むことが必要と力説しま



す。加入率を向上させるためにも「転入された方に自治活動を丁寧に説明し理解してもらうこ

とが大切」とし、大山自治会では「定期的に転入者を対象とした親睦会を開催している」などの事例紹介を交えながら、佐藤会長と活発に意見交換を行ないました。

また、佐藤会長は「町内会活動はそこに住む人々のつながりが大事。一人ひとりが地域のためにできることは何かを考えていくことが大切」と訴えました。

## 【お知らせ】防犯灯がLED化されました

市内にある全ての防犯灯のLED化工事が概ね完了しました。

今までの防犯灯に比べて、環境への負荷が低減され、明るく夜道を照らすLEDタイプに交換されました。

近くの防犯灯で異常を見つけたら市役所へ連絡してください。

◎夜になっても点灯しない ◎日中も点灯している ◎破損しているなど

連絡先：市役所生活安全課  
TEL 33-3131  
(内線1181)

### 市町連活動記録

(2013.9.1～12.31)

- 9.20 道央ブロック町内会活動研究大会(札幌市)
- 10.17 室蘭市町内会連合会視察受け入れ
- 11.3 市町連活動研究会
- 12.16 市理事者と町内会長等との懇談会

#### ■役員会等の開催状況

四役会(3回)、役員会(2回)  
広報部会(2回)

#### ■編集後記

◆本年も「こんな素晴らしいことをしている」という事例を掲載しますので、是非活動の参考に！(野)

◆生きることは、世間に借りをつくること。生きていくことは、その借りを返すこと。(今)

◆編集作業は苦勞します。編集にあたり話し合いをするものの結果は、いつも事務局任せ。反省。(帰)

◆市民の皆さんの参考となる事例などを紹介する広報誌です。今後もご一読を！(三)

◆昨年元日、今年と同積雪ですが、月末には2倍に！でも、今年は体が2倍返し出来ず！(松)

### 募集!

紙面で紹介したい“ユニークな活動をしている人”“がんばる人”の情報をお寄せください。

#### 発行

恵庭市町内会連合会  
広報部会

#### 事務局

恵庭市役所  
市民活動推進課内  
(33-3131)



# つなぐ

恵庭市  
町内会連合会報  
**2014.9**  
vol.05



「楽しみのない、町内会活動は長続きしない」駒場南町内会の文化厚生部長として活躍する伊藤さんは、昭和63年から多くの会員とともに「町内を花いっぱいにする」の思いで、楽しみながら花壇づくりに励んでいる。「花の特徴や色のバランスなどを考えて設計図を描くんですよ」伊藤さんの奥様と副部長の星さんは、毎年2月に花壇の設計図を描くという。雪が解け土を耕し、肥料をあたえ、花を植える。多くの会員と協力し、毎日、手入れをする。以前は町内にある教会の敷地を借りて花壇を造っていたが、3年前に町内の企業に協力をもらい、現在のくるみ公園に花壇を造った。

こうした、多くの会員の協力によって作られた花壇は、恵庭市花いっぱい文化協会の花壇コンクールで数多く入選し、今年も

## 町内を花いっばいに

3年連続となる最優秀賞に輝いている。「これからも会員の皆さんと協力し、花いっぱいの恵庭らしく楽しみながら続けたい」伊藤さんは今日も花壇造りを続けている。



駒場南町内会 文化厚生部長 **伊藤 直衛** さん  
(左から3人目)





# RELAY INTERVIEW

## リレー・インタビュー

### 女性が主役の 町内会活動

市内には、62の町内会・自治会があるが、女性が会長を務めているのは3つの町内会。会長や副会長などの役員を男性が担うことが多い中で、会長を含む役員の8割が女性という女性が主役の町内会が緑町旭団地町内会である。

この町内会は市営住宅5棟、170世帯が入居する団地で構成している。会長の柴田さんは平成16年から会長を務めているが、それまでは副会長や婦人部長などを経験した。「私の前までは、男性が役員をしていたよ」と柴田さん。会長になってから多くの女性が役員になった。「昔から同じ団地に住んで顔見知りだし、色々と頑張っているのを見ていたからね」と副会長の馬場さん。「恵庭に来る前にも別の団地で役員していた」と副会長の田中さん。高齢者

や女性の世帯が多い団地という特徴もあるが、女性が役員として集まり、みんなで会長をサポートする体制ができた。

緑町旭団地町内会では、毎月「ふれ合いサロン」を開いて会員同士で手芸などを楽しんだり、毎年の「レクリエーション旅行」などで会員同士の交流を図っている。「もっと事業を計画したいけど体力がついていかなくて」と柴田さん。役員の高齢化が進んでいることや新たな担い手が不足していることが課題だという。「若い人たちを役員に育てること」を目標に役員さんは毎日活動が続けている。

緑町旭団地町内会 会長  
**柴田 幸子**さん

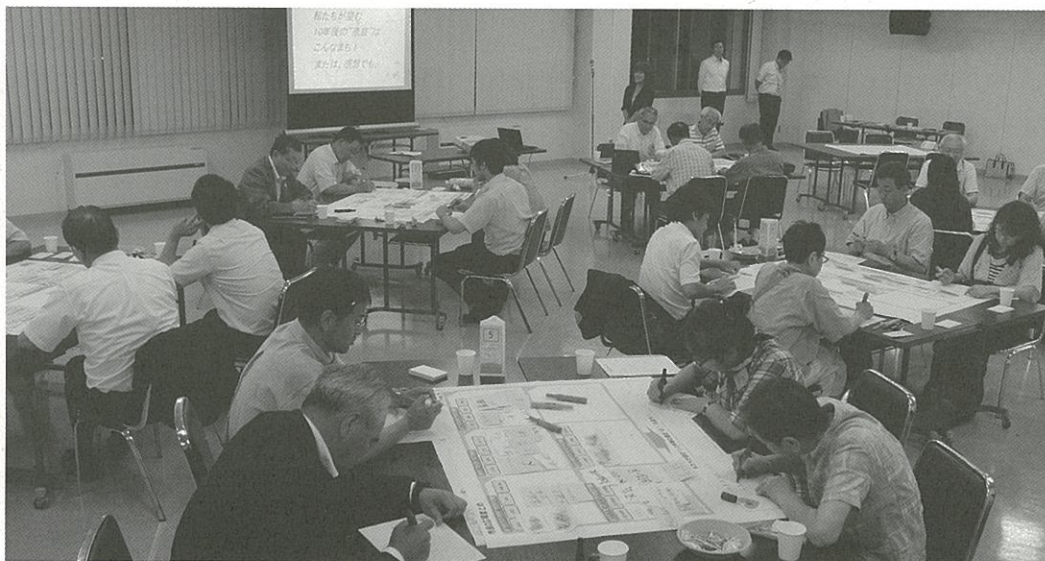


柴田さん(左から2人目)と役員のみなさん



# 報告

## 市民の広場 「10年後の恵庭」をテーマに開催



市民の広場は、町内会・自治会や様々な団体などが市長らと対話しながら協働のまちづくりを進めるため、市が平成23年度からおこなっている事業である。

町内会や自治会では、各地区の町内会連合会が中心となり、市に除雪や道路・公園の整備、交通安全や防災などの改善を求め、市長との対話をとおして身近な生活環境の改善に努めてきた。

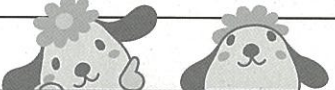
今年の市民の広場は、私たちが住むまちをどのようなまちにするのか、将来像やその手法を示す「恵庭市総合計画」が、平成28年度から新たにスタートすることから、この新しい計画に市民の意見を反映させるため、「10年後の恵庭」をテーマとして7月に市内を7地区に分けて開催し235名が参加した。

昨年までは、市長はじめ職員と市民が

分かれて座っていたが、今年は4～5人程度が座るテーブルをいくつか用意し、市長らがそれらのテーブルに1名ずつ座り、和やかな雰囲気の中、ざっくばらんに懇談。参加者は「恵庭は災害が少ない」「水源が豊できれい」などのまちの魅力や「働く場が少ない」「高齢者対策の充実を」といった課題などを自由に意見を出した。

こうした意見は、これから市がつくる「第5期恵庭市総合計画」に反映される。また、身近な生活環境の改善に関する要望は、多くの町内会や自治会から市へ提出され、市から回答される。





### おもしろ 恵庭学

第5回

林田の町名の由来は？

文責：恵庭昭和史研究会 林 嘉男

林田は島松地区にある農村部の町名です。とても由緒ある名前です。林田とは林清太郎と田中菊治のそれぞれ頭文字をとって付けたものです。林清太郎は石川県の人で漁太・東島松地区の開拓を進めるために加越能開耕株式会社の代表を務めた人です。田中菊治はこの林清太郎の農場の管理人で、後の初代恵庭市長です。ちなみに、田中市長は村長から市長まで通算20年を勤めたほか村会議長、道会議員を勤め、恵庭の行政の基礎づくりと発展の立役者です。（敬称略）



市長時代の田中菊治氏



## 恵庭市町内会連合会の平成26年度役員を紹介します。

恵庭市町内会連合会は、町内会・自治会活動に必要な情報の提供や調査研究をおこない、明るく住みよいまちづくりを推進するため事業を展開しております。この広報誌をとおして、市民の皆さんに市町連の活動や市内の町内会・自治会を紹介し、市民と地域をつなぎ、町内会活動に興味をもっていた



恵庭市町内会連合会会長

**野原 聡**

だき、参加していただけるよう情報をお伝えしていきます。

### ■本年度の役員

会 長	野原 聡 (大町)	理 事	水本隆夫 (中央)
副会長	宮崎光由 (中恵庭)		林 嘉男 (末広町)
副会長	下原干城 (駒場町南)		大高 修 (牧場)
副会長	山形 孝 (恵み野東)		水尾國夫 (恵央町)
副会長	鶴田 力 (島松仲町)		松崎政和 (恵み野南)
事務局長	河尻信男 (緑町)		川島隆雄 (中島松)
事務局次長	北林 優 (福住町1丁目)	監査役	河井二郎 (白樺北)
会計長	三浦 功 (有明町)		鏡 貢 (島松本町)
			加藤 強 (穂栄)

## 子どもたちの見守りに

6月2日に市町内会連合会は、恵庭市建設業協会から「セーフティハウスこども110番」事業の旗125枚を寄贈された。これは、同協会が平成22年度から市内各地域の建設現場を不審者などから子どもたちを守る駆け込み場所として確保していることをPRしているもの。市町連では旗を各町内会・自治会に2枚ずつ配布し、同協会と連携して「地域の子どもの安全を365日見守る」こととしている。



### 市町連活動記録

(2014.1.1 ~ 8.31)

- 2.18 町内会連合会総会・表彰式
- 4.23 市理事者と町内会長等との懇談会
- 5.27 全道町内会連合会活動研究大会(札幌市)
- 5.28 全道町内会連合会総会(札幌市)
- 6.10 町内会長等親睦交流会
- 8. 1 町内会活動実践者研修会(札幌市)

#### ■役員会等の開催状況

四役会(7回)、役員会(3回)  
事業部会(1回)、広報部会(2回)

### ■編集後記

- ◆地域の繋がりを強化するため、会報誌「つなぐ」を有効に活用したいですね(下)
- ◆町内行事で活躍する青少年の成長の早さに驚き、我が身老化の進行に片目をつぶりたい(鶴)
- ◆会報誌「つなぐ」を通して他町内との友好を深められるよう、つないで行きましょう(水)
- ◆農作業、病院通いで編集に参加できず申し訳ありません(川)
- ◆「おもしろ恵庭学」に登場の田中菊治氏を知る人は少ない。しみじみと時の流れが感じられる。(河)

### 募集!

紙面で紹介したい  
ユニークな活動をして  
いる人、がんばる人の  
情報をお寄せください。

発行

恵庭市町内会連合会  
広報部会

事務局

恵庭市役所  
市民活動推進課内  
(33-3131)